

審 査 設計者

令和 7 年度 実施設計書

工事番号
(設計書コード) 3 7 - F E 3 2 0 - 0 4 - 0 1 - 0 3

建設工事名 令和7年度（団体営）高柳水門改良工事（藤枝南部）

地区箇所名 建設工事箇所 藤枝市 高柳 地内

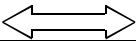
建設工事金額

工 期 令和 8 年 2 月 2 7 日限り 週休2日推進工事補正（4週8休以上）

建設工事概要 施工延長 9.7 m
水門工 2 基

歩掛・単価適用年度 令和 7 年 6 月 基本単価 令和 7 年 6 月 地区コード 2 2 0 地区

起 終 点 指 定





工 事 鏡		
項 目 名	金 額	備 考
請負工事費（設計額）		
総合工事価格		
消費税相当額（10.0%）		
施設機械設備（水門設備）		
土木工事（農地）（水路工事）		

請 負 費 構 成 表

項 目 名	単 位	数 量	金 額	備 考
(1) 工事価格				
(2) ・工事原価				
(3) ・ ・ 製作工事原価				
(4) ・ ・ ・ 直接製作費	式			
(5) ・ ・ ・ 間接製作費				
(6) ・ ・ ・ ・ 間接労務費				
(7) ・ ・ ・ ・ 工場管理費				
(8) ・ ・ 据付工事原価				
(9) ・ ・ ・ 直接工事費	式			
(10) ・ ・ ・ 間接工事費				
(11) ・ ・ ・ ・ 共通仮設費				
(12) ・ ・ ・ ・ ・ 共通仮設費（率分）	%			
(13) ・ ・ ・ ・ 現場管理費	%			
(14) ・ ・ ・ ・ 据付間接費	%			

請 負 費 構 成 表

項 目 名	単 位	数 量	金 額	備 考
(1 5) ・ ・ 設計技術費	%			
(1 6) ・ 一般管理費等	%			
(1 7) 純工事費				
(1 8) 純製作費				
(1 9) 機器単体費				
工種区分名称				水門設備
地域特性区分				一般交通影響有り (2)
一般管理費等補正				金銭的保証を必要とする

工 事 費 内 訳 表

区分・工種・種別・細別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
製作工事					
- 小形水門扉製作工					
	式	1			
-- 扉体工					
	式	1			
--- 扉体工（材料費）					
	式	1			
---- ステンレス鋼板 SUS304 PL-8					40.25×2=81kg ステンレス鋼板 ステンレス新断（旧ステンレス屑） 割増率25%
	kg	81			
---- ステンレス鋼板 SUS304 PL-12、PL-19					見積、7.85×2=16kg ステンレス鋼板 ステンレス新断（旧ステンレス屑） 割増率25%
	kg	16			
---- ステンレス角形鋼管 SUS304 □-100×100×6					見積、20.33×2=41kg ステンレス形鋼、ステンレス平鋼 ステンレス新断（旧ステンレス屑） 割増率10%
	kg	41			
---- ステンレス溝形鋼 SUS304 [-100×50×6					10.6×2=21kg ステンレス形鋼、ステンレス平鋼 ステンレス新断（旧ステンレス屑） 割増率10%
	kg	21			
---- ステンレス平鋼 SUS304 FB-22×75					見積、4.19×2=8kg ステンレス形鋼、ステンレス平鋼 ステンレス新断（旧ステンレス屑） 割増率10%
	kg	8			

工 事 費 内 訳 表

区分・工種・種別・細別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
---- ステンレス平鋼 SUS304 FB-9×100、FB-9×75	kg	23			見積、11.70×2=23kg ステンレス形鋼、ステンレス平鋼 ステンレス新断（旧ステンレス屑） 割増率10%
---- ステンレス平鋼 SUS304 FB-6×40	kg	12			見積、5.99×2=12kg ステンレス形鋼、ステンレス平鋼 ステンレス新断（旧ステンレス屑） 割増率10%
---- ステンレス丸鋼 SUS304 RB-24	kg	1			物価資料、0.51×2=1kg ステンレス棒鋼 ステンレス新断（旧ステンレス屑） 割増率20%
---- 水門設備副部材費 起伏堰、起伏ゲート、扉体	式	1			第 1号表
---- 水門設備部品費 起伏堰、起伏ゲート、扉体	式	1			第 2号表
---- 水密ゴム 合成ゴム 平型 0.75×2=2kg	kg	2			建設物価 6月 WEB 積算資料別冊 6月 P154
---- 水密ゴム 合成ゴム 平型 4.21×2=8kg	kg	8			建設物価 6月 WEB 積算資料別冊 6月 P154
---- 補助材料費（製作） 水門設備（起伏堰 起伏ゲート）	式	1			第 3号表
--- 扉体工（労務費及び塗装費）	式	1			

工 事 費 内 訳 表

区分・工種・種別・細別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
---- 水門設備製作工	門	2			第 4号表
---- ステンレス酸洗い費 (材料・工数込み)	m ²	6			2.95×2=6m ²
---- 間接労務費 小形水門設備	式	1			第 5号表
---- 工場管理費 小形水門設備	式	1			第 6号表
--- 戸当り工 (材料費)	式	1			
---- ステンレス鋼板 SUS304 PL-8、PL-9	kg	212			見積、105.91×2=212kg ステンレス鋼板 ステンレス新断 (旧ステンレス屑) 割増率25%
---- ステンレス鋼板 SUS304 PL-22	kg	6			見積、3.06×2=6kg ステンレス鋼板 ステンレス新断 (旧ステンレス屑) 割増率25%
---- ステンレス平鋼 SUS304 FB-6×50、EB-6×40	kg	11			見積、5.35×2=11kg ステンレス形鋼、ステンレス平鋼 ステンレス新断 (旧ステンレス屑) 割増率10%
---- ステンレス溝形鋼 SUS304 [-130×65×6	kg	30			見積、15.00×2=30kg ステンレス形鋼、ステンレス平鋼 ステンレス新断 (旧ステンレス屑) 割増率10%

工 事 費 内 訳 表

区分・工種・種別・細別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
---- 水門設備副部材費 起伏堰, 起伏ゲート, 戸当り	式	1			第 7号表
---- 水門設備部品費 起伏堰, 起伏ゲート, 戸当り	式	1			第 8号表
---- 補助材料費(製作) 水門設備(起伏堰 起伏ゲート)	式	1			第 9号表
--- 戸当り工(労務費及び塗装費)	式	1			
---- 水門設備製作工	門	2			第 10号表
---- ステンレス酸洗い費 (材料・工数込み)	m ²	8			4.17×2=8m ²
---- 間接労務費 小形水門設備	式	1			第 11号表
---- 工場管理費 小形水門設備	式	1			第 12号表
-- 開閉装置工	式	1			

工 事 費 内 訳 表

区分・工種・種別・細別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
--- 開閉装置（機器単体費）	式	1			
---- 巻上機 ワイヤーロープ式	台	1			見積
---- 水位検知装置 SUS304 フロート式	式	1			見積
---- ワイヤーロープ SUS304 φ8 L=3.3m 端末処理含む	式	1			見積
- 銅製付属設備製作工	式	1			
-- 銅製付属設備製作工	式	1			
--- 銅製付属設備工（材料費）	式	1			
---- 綑銅板 SS400 CPL-6.0	t	0.1			0.03543×2=0.1t 銅板、ステンレスクラッド銅板 ヘビーH1（旧特級A） 割増率12%
---- 一般構造用溝形鋼 SS400 [-150×75×6.5×10	kg	161			80.46×2=161kg 形鋼、平鋼 ヘビーH1（旧特級A） 割増率10%

工 事 費 内 訳 表

区分・工種・種別・細別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
---- 平銅 SS400 FB-12×150	kg	14			見積、7.05×2=14kg 形鋼、平銅 ヘビ-H1 (旧特級A) 割増率10%
---- 補助材料費(製作) 銅製付属設備	式	1			第 13号表
---- 銅製付属設備製作工 架台 (0.1t≤x≤5.0t)	基	2			第 14号表
---- 間接労務費 銅製付属設備 (水管橋用歩廊含む)	式	1			第 15号表
---- 工場管理費 銅製付属設備 (水管橋用歩廊含む)	式	1			第 16号表
--- 銅製付属設備工 (塗装費)	式	1			
---- 溶融亜鉛メッキ	kg	246			見積、122.9×2=246kg
直接製作費					
間接労務費					

工 事 費 内 訳 表

区分・工種・種別・細別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
工場管理費					
間接製作費					
製作工事原価					
据付工事					
- 輸送費					
	式	1			
-- 輸送費					
	式	1			
--- 輸送費（小形水門）					
	式	1			
---- 輸送費 河川用水門設備 起伏堰 起伏ゲート					
	式	1			

第 17号表

工 事 費 内 訳 表

区分・工種・種別・細別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
- 小形水門扉据付工	式	1			
-- 小形水門扉据付工	式	1			
--- 水門扉据付工及び直接経費（小形水門）	式	1			
---- 水門設備据付工 小形水門扉 スライドゲート（3方水密）扉体面積10m ² 未満	門	2			小型水門準用、扉体面積0.5m ² 第 18号表
---- 据付材料費 水門扉、堰（中・大水門、起伏堰）	式	1			第 19号表
---- 補助材料費（据付） 小形水門設備	式	1			第 20号表
---- トラック〔クレーン装置付〕 ベーストラック2t積吊能力2.9t	時、日				換算供用日（損料表15欄）
---- 電気溶接機〔交流アーク式（手動・電撃防止器内蔵型）〕 定格電流250A	時、日				換算供用日（損料表15欄）
---- 雑器具損料	式	1			第 21号表

工 事 費 内 訳 表

区分・工種・種別・細別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
- 銅製付属設備据付工	式	1			
-- 銅製付属設備据付工	式	1			
--- 銅製付属設備据付工	式	1			
---- 銅製付属設備据付工 架台 (0.1t ≤ x ≤ 5.0t)	基	2			第 22号表
---- 補助材料費 (据付) 銅製付属設備	式	1			第 23号表
直接工事費計					
工種区分 水門設備					
共通仮設費 (一般交通影響有り (2))	式	1			
共通仮設費計					

工 事 費 内 訳 表

区分・工種・種別・細別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
純工事費計					
現場管理費 (一般交通影響有り(2))	式	1			
据付間接費 (小形水門設備(新設))	式	1			
据付工事原価					
製作据付原価					
設計技術費 (小形水門設備)	式	1			
工事原価計					
一般管理費等 (金銭的保証を必要とする)	式	1			

工 事 費 内 訳 表

区分・工種・種別・細別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
工事価格計					

水門設備副部材費
起伏堰, 起伏ゲート, 扉体

第 1号表

金 円 1 式 当り					
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額
副部材費					
計		式			

水門設備部品費
起伏堰, 起伏ゲート, 扉体

第 2号表

水門設備部品費 起伏堰，起伏ゲート，扉体						第 2号表
金 円		1 式 当り				
積 算 項 目		単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
部品費		式				
計						

補助材料費（製作）
水門設備（起伏堰 起伏ゲート）
第 3号表

補助材料費（製作） 水門設備（起伏堰 起伏ゲート）						第 3号表
金 円 1 式 当り						
積 算 項 目		単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
製作補助材料費		式				
計						

水門設備製作工

第 4号表

水門設備製作工						第 4号表
金 円		1 門 当り				
積 算 項 目		単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
機械設備製作工		人				
計						

1, #等:諸経費等対象額

0101FAF0

設備・形式・製作区分及び適用範囲=小形水門扉 スライドゲート（3方水密）扉体 扉体面積10㎡未満、 対象要素の入力=0.5、 主要部材の混合比率の入力=1、 製作門数による補正係数の選択=2門

間接労務費
小形水門設備

第 5号表

間接労務費 小形水門設備						第 5号表
金 円 1 式 当り						
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額	摘 要
間接労務費		式				
計						

工場管理費
小形水門設備

第 6号表

工場管理費 小形水門設備						第 6号表
金 円		1 式 当り				
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額	摘 要
工場管理費		式				
計						

水門設備副部材費
起伏堰, 起伏ゲート, 戸当り

第 7号表

金 円 1 式 当り					
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額
副部材費					
計		式			

補助材料費(製作)
水門設備(起伏堰 起伏ゲート)

第 9号表

補助材料費（製作） 水門設備（起伏堰 起伏ゲート）						第 9号表
金 円 1 式 当り						
積 算 項 目		単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
製作補助材料費		式				
計						

水門設備製作工

第 10号表

金 円 1 門 当り					
積 算 項 目		単位	数 量	単 価	金 額
機械設備製作工					
		人			
計					

1, #等:諸経費等対象額

0101FAF0

間接労務費
小形水門設備

第 11号表

間接労務費 小形水門設備						第 11号表
金 円 1 式 当り						
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額	摘 要
間接労務費		式				
計						

工場管理費
小形水門設備

第 12号表

工場管理費 小形水門設備						第 12号表
金 円 1 式 当り						
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額	摘 要
工場管理費		式				
計						

補助材料費（製作）
銅製付属設備

第 13号表

金 円 1 式 当り					
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額
製作補助材料費					
		式			
計					

鋼製付属設備製作工
架台 (0.1t ≤ x ≤ 5.0t)

第 14号表

銅製付属設備製作工 架台 (0.1t≤x≤5.0t)						第 14号表
金 円		1 基 当り				
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額	摘 要
機械設備製作工		人				
計						

1, #等: 諸経費等対象額
0101FAF0

間接労務費
銅製付属設備（水管橋用歩廊含む）

第 15号表

金 円 1 式 当り					
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額
摘 要					
間接労務費					
		式			
計					

工場管理費
銅製付属設備（水管橋用歩廊含む）

第 16号表

工場管理費 銅製付属設備（水管橋用歩廊含む）						第 16号表
金 円 1 式 当り						
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額	摘 要
工場管理費		式				
計						

[illegible]

1, #等: 諸經費等対象額

0101FAF0

水門設備据付工
小形水門扉 スライドゲート (3方水密) 扉体面積10m2未満

第 18号表

金 円 1 門 当り					
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額
機械設備据付工					
		人			
普通作業員					
		人			
計					

1, #等:諸経費等対象額

0101FAF0

設備・形式区分=小形水門扉 スライドゲート (3方水密) 扉体面積10m2未満, 扉体面積の入力=0.5, 開閉機種別による補正=手動式・原動機式・操作盤一体型開閉装置, 据付門数による補正係数の選択=2門

据付材料費
水門扉、堰（中・大水門、起伏堰）

第 19号表

金 円 1 式 当り						
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額	摘 要
据付材料費		式				
計						

補助材料費(据付)
小形水門設備

第 20号表

金 円 1 式 当り					
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額
補助材料費(据付)					
		式			
計					

鋼製付属設備据付工
架台 (0.1t ≤ x ≤ 5.0t)

第 22号表

金 円 1 基 当 り					
積 算 項 目		単 位	数 量	単 価	金 額
機械設備据付工 80%		人			
普通作業員 20%		人			
計					

1, #等: 諸経費等対象額
0101FAF0

設備区分=架台 (0.1t ≤ x ≤ 5.0t), 据付対象質量=123kg/基

補助材料費(据付)
銅製付属設備

第 23号表

金 円 1 式 当り					
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額
補助材料費(据付)					
		式			
計					

請 負 費 構 成 表

項 目 名	単 位	数 量	金 額	備 考
(1) 工事価格				
(2) ・工事原価				
(3) ・ ・ ・ 直接工事費	式			
(4) ・ ・ ・ 間接工事費				
(5) ・ ・ ・ ・ 共通仮設費				
(6) ・ ・ ・ ・ ・ 共通仮設費（積上分）	式			
(7) ・ ・ ・ ・ ・ 共通仮設費（率分）	%			
(8) ・ ・ ・ ・ 現場管理費	%			
(9) ・ 一般管理費等	%			
(1 0) 純工事費				
(1 1) 処分費				
工種区分名称				水路工事
地域特性区分				一般交通影響有り (2) - 2
一般管理費等補正				金銭的保証を必要とする

工 事 費 内 訳 表

区分・工種・種別・細別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
本工事費					
-- 土工					
式	1				
--- 作業残土処理工					
式	1				
---- 残土運搬・処分 第3種建設発生土	m ³	20			T0011 第 1号表 数量コードZ10
-- 構造物撤去工					
式	1				
--- 構造物取壊し工					
式	1				
---- 舗装版切断					
m	6.6				SP 2号表 数量コードCOL
---- 構造物とりこわし(鉄筋構造物)					
m ³	2				第 2号表 数量コードTCG
---- 構造物とりこわし(無筋構造物)					
m ³	5				第 3号表 数量コードMCG

工 事 費 内 訳 表

区分・工種・種別・細別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
---- 舗装版切断	m	19			SP 3号表 数量コードASL
---- 舗装版破碎	m ²	16			SP 4号表 数量コードTHZ
---- 鉄筋コンクリート殻運搬・処分	m ³	2			第 4号表 数量コードTCG
---- 無筋コンクリート殻運搬・処分	m ³	5			第 5号表 数量コードMCG
---- 濁水運搬・処分	式	1			第 6号表 数量コードASG
---- アスファルト殻運搬・処分	m ³	1			第 8号表 数量コードC1
-- 暗渠工	式	1			
--- 作業土工	式	1			
---- 床掘り(礫質土)	m ³	14			SP 8号表 数量コードC1

工 事 費 内 訳 表

区分・工種・種別・細別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
---- 床掘り(粘性土)	m ³	5			SP 9号表 数量コードC2
---- 埋戻し(購入土)	m ³	10			T0031 数量コードR1
---- 埋戻し(発生土)	m ³	2			SP 11号表 数量コードR2
--- 現場打暗渠工	式	1			
---- 水路工(堰部)	箇所	2			M0041 第 10号表
---- 水路工(取合部)	箇所	2			M0042 第 14号表
-- 分水工	式	1			
--- 分水工	式	1			
---- ステンレス鋼等辺山形鋼 SUS304、40mm×5mm	kg	4			建設物価 6月 P52 積算資料 6月 P49

工 事 費 内 訳 表

区分・工種・種別・細別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
---- 堰板 SUS304、200×460・375、t=4	枚	1			見積
-- 道路復旧工	式	1			
--- 舗装準備工	式	1			
---- 掘削	m ³	3			SP 18号表 数量コードc1
--- アスファルト舗装工	式	1			
---- 下層路盤(車道・路肩部)	m ²	6.7			SP 19号表 数量コードW1
---- 上層路盤(車道・路肩部)	m ²	9.6			SP 20号表 数量コードW2
---- 表層(車道・路肩部)	m ²	9.6			SP 21号表 数量コードW2
--- 区画線工	式	1			

工 事 費 内 訳 表

区分・工種・種別・細別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
---- 区画線設置〔溶融式手動〕 実線 15cm 塗布厚1.5mm 白	m	10			第 17号表 数量コードK15
-- 仮設工	式	1			
--- 仮設道路工	式	1			
---- 表層（車道・路肩部）	m ²	6.7			SP 22号表 数量コードW1
--- 仮設土留・仮締切工	式	1			
---- アルミ矢板建込・引抜工（片側分） 掘削深	m	8			M0101 第 18号表
---- アルミ矢板 賃料	式	1			M0111 第 20号表
---- 軽量金属支保設置撤去工 水圧式パイサポート 1段 掘削深2.0m以下	m	8			第 21号表
---- 支保工 賃料	式	1			M0112 第 22号表

工 事 費 内 訳 表

区分・工種・種別・細別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
--- 排水処理工	式	1			
---- 排水ポンプ設置・撤去工（小口径） 口径50mm	箇所	2			第 23号表
---- 水替工（小口径ポンプ運転） 作業時排水 0以上6未満（m ³ /h） 発動発電機	箇所	2			第 24号表
--- 安全費	式	1			
---- 交通誘導警備員B	人	73			15日×3人+14日×2人
直接工事費計					
工種区分 水路工事					
共通仮設費（率） （一般交通影響有り（2）-2）	式	1			
仮設材等の積み込み・取卸し費	式	1			M0113 第 25号表

工 事 費 内 訳 表

区分・工種・種別・細別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
共通仮設費計					
純工事費計					
現場管理費 (一般交通影響有り(2)-2)	式	1			
工事原価計					
一般管理費等 (金銭的保証を必要とする)	式	1			
工事価格計					

T O O 1 1					
第 1 号表					
第 3 種建設発生土					
金 円 100 m3 当り					
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額
土砂等運搬		m3	100		SP 1号表
残土処分費 駿遠開発事業（株）切山残土処分場 牧之原市切山字真菰沢54ほか47筆		m3	130		
計					
単価		m3			

構造物とりこわし

第 2号表

金 円 1 m3 当り					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
構造物とりこわし工（鉄筋構造物） 昼間単価 制約無 機械 機労	m3	1			1 標準単価（基本額）〔合計金額対象外〕
〔補正係数：週休2日補正〕	X				
補正後標準単価	m3	1			
計（合計金額対象外は除く）					

1, #等:諸経費等対象額

0001CAF0

構造物区分=鉄筋構造物, 工法区分=機械施工, 時間の制約=無し, 作業時間=昼間, 低騒音・低振動対策=不要

構造物とりこわし

第 3号表

金 円 1 m3 当り					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
構造物とりこわし工（無筋構造物） 昼間単価 制約無 機械 機労	m3	1			1 標準単価（基本額）〔合計金額対象外〕
〔補正係数：週休2日補正〕	X				
補正後標準単価	m3	1			
計（合計金額対象外は除く）					

1, #等:諸経費等対象額

0001CAF0

構造物区分=無筋構造物, 工法区分=機械施工, 時間の制約=無し, 作業時間=昼間, 低騒音・低振動対策=不要

T O O 2 1 鉄筋コンクリート設運搬・処分					
金 円 10 m3 当り					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
設運搬	m3	10			SP 5号表
鉄筋コンクリート設処分費 (株)ハイナリサイクルプラント第1プラント 牧之原市勝間1355-10	m3	10			
計					
単価	m3				

T O O 2 2		無筋コンクリート設運搬・処分				第 5号表	
金 円		10 m3 当り					
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額	摘 要	
設運搬		m3	10			SP 6号表	
無筋コンクリート設処分費 (株)紅林建材 藤枝市高洲82-4		m3	10				
計							
単価		m3					

T O O 2 3		濁水運搬・処分				第 6号表	
金 円		1 式 当り					
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額	摘 要	
トラック運搬 (D I D区間あり) 運搬距離：30.0km以下		台	1			第 7号表	
カッター汚泥処分費 マーセリサイクル (株) 麻機工場 静岡市葵区北2242-129		m3	0.05			数量コードAKO	
計							

トラック運搬 (DID区間あり)
運搬距離: 30.0 km以下

第 7号表

金 円 1 台 当り					
積 算 項 目		単位	数 量	単 価	金 額
トラック運搬 2 t 積		時間			
諸 雑 費		式	1		
計					

T O O 2 4					
アスファルト殻運搬・処分					
第 8号表					
金 円 10 m3 当り					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
殻運搬	m3	10			SP 7号表
アスファルト殻処分費 セイエン商事(株) 藤枝工場 藤枝市稲川字大下891-2	m3	10			
計					
単価	m3				

T O O 3 1		埋戻し (購入土)				第 9号表	
金 円		100 m3 当り					
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額	摘 要	
埋戻し		m3	100			SP 10号表	
路床材 再生盛土材		m3	133				
計							
単価		m3					

MOO41 水路工 (堰部) 第 10号表					
金 円 1箇所当り					
積算項目	単位	数量	単価	金額	摘要
基礎碎石	m ²	3.2			SP 12号表
均しコンクリート	m ³	0.3			SP 13号表
均しコンクリート型枠	m ²	0.4			SP 14号表
躯体コンクリート	m ³	1.8			SP 15号表
躯体型枠	m ²	8.3			SP 16号表
・鉄筋工 規格・径:SD345 D13 作業:一般作業 施工規模:10t未満	t	0.077			第 11号表
排水構造物 蓋版(1400×664 普通目 T-25) 据付け 蓋版(各種)	枚	1			第 12号表
排水構造物 蓋版(1400×564 普通目 T-25) 据付け 蓋版(各種)	枚	1			第 13号表

1, #等:諸経費等対象額

0001CAF0

MO O 4 1					
第 10号表					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
計					

・鉄筋工
規格・径:SD345 D13 作業:一般作業 施工規模:10t未満

第 11号表

金 円 1 t 当り					
積 算 項 目	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
鉄 筋 SD345 D13	t	1.03			
鉄筋工 (鉄筋加工・組立) 一般構造物	t	1			1 市場単価 (基本額) [合計金額対象外]
[補正係数:週休2日補正]	X				
[加算率:S] 10t未満	%				
補正後市場単価	t	1			
計 (合計金額対象外を除く)					

1, #等:諸経費等対象額
0001CAF0

規格区分=SD345 D13, 作業区分=一般作業、一般構造物 (切梁無し), 施工規模=10t未満, 時間制約を受ける場合の補正=無, 夜間作業の補正=無, 太径鉄筋量=10%未満

排水構造物 蓋版 据付け
蓋版 (各種)

第 12号表

金 円 1 枚 当り					
積 算 項 目	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
排水構造物工 (蓋版) 昼間単価 時間的制約 無 鋼製 40を超え170kg/枚以下 機・労	枚	1			1 標準単価 (基本額) [合計金額対象外]
(補正係数: 週休2日補正)	X				
補正後標準単価	枚	1			
蓋版	枚	1			
計 (合計金額対象外は除く)					

1, #等: 諸経費等対象額

0001CAF0

作業区分=据付け, 作業時間=昼間, 蓋版の種類=蓋版 (各種), 規格・仕様区分=40を超え170kg/枚以下, 時間的制約=無し, 施工箇所における補正=無し

排水構造物 蓋版 据付け
蓋版 (各種)

第 13号表

金 円 1 枚 当り					
積 算 項 目	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
排水構造物工 (蓋版) 昼間単価 時間的制約 無 鋼製 40を超え170kg/枚以下 機・労	枚	1			1 標準単価 (基本額) [合計金額対象外]
(補正係数: 週休2日補正)	X				
補正後標準単価	枚	1			
蓋版	枚	1			
計 (合計金額対象外は除く)					

1, #等: 諸経費等対象額

0001CAF0

作業区分=据付け, 作業時間=昼間, 蓋版の種類=蓋版 (各種), 規格・仕様区分=40を超え170kg/枚以下, 時間的制約=無し, 施工箇所における補正=無し

MOO42 水路工 (取合部) 第 14号表					
金 円 1 箇所 当り					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
基礎碎石	m2	1.9			SP 12号表
均しコンクリート	m3	0.2			SP 13号表
均しコンクリート型枠	m2	0.2			SP 14号表
躯体コンクリート	m3	1.1			SP 15号表
躯体型枠	m2	3.3			SP 16号表
・鉄筋工 規格・径:SD345 D13 作業:一般作業 施工規模:10t未満	t	0.057			第 11号表
現場打ち床版コンクリート	m3	0.7			SP 15号表
現場打ち床版型枠	m2	2.1			SP 16号表

MOO42					
第 14号表					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
埋設型枠設置 1300用、L=1000 JSフォームC1300用と同等品以上	m	2			T0143 第 15号表
側溝用埋設型枠 1300用 L=1000、JSフォームC1300と同等品以上	枚	2			物価資料 建設物価 6月 P176 積算資料 6月 P223
・鉄筋工 規格・径：SD345 D16 作業：一般作業 施工規模：10t未満	t	0.039			第 16号表
・鉄筋工 規格・径：SD345 D13 作業：一般作業 施工規模：10t未満	t	0.014			第 11号表
コンクリート削孔（電動ハンマドリル）	孔	6			SP 17号表
異形棒鋼 SD345 D13	t	0.001			
コンクリートアンカー 接着系	本	6			物価資料 建設物価 6月 P71 積算資料 6月 P72
計					

T O 1 4 3

埋設型枠設置
1300用、L=1000
JSフォームC1300用と同等品以上

第 15号表

金 円 1 m 当り

積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
普通作業員	人				
計					

・鉄筋工
規格・径:SD345 D16 作業:一般作業 施工規模:10t未満

第 16号表

金 円 1 t 当り					
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額
鉄 筋 SD345 D16-25		t	1.03		
鉄筋工(鉄筋加工・組立) 一般構造物		t	1		1 市場単価(基本額) [合計金額対象外]
[補正係数:週休2日補正]		X			
[加算率:S] 10t未満		%			
補正後市場単価		t	1		
計(合計金額対象外を除く)					

1, #等:諸経費等対象額

0001CAF0

規格区分=SD345 D16, 作業区分=一般作業、一般構造物(切梁無し), 施工規模=10t未満, 時間制約を受ける場合の補正=無, 夜間作業の補正=無, 太径鉄筋量=10%未満

区画線設置〔熔融式手動〕 実線 15cm 塗布厚1.5mm 白						第 17号表
金 円		1000 m 当り				
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額	摘 要
区画線工（区画線設置工〔熔融式（手動）〕） 昼間単価 供用区間 実線 15cm 時間的制約 無 機・労		m	1,000			1 標準単価（基本額）〔合計金額対象外〕
〔補正係数：週休2日補正〕		X				
補正後標準単価		m	1,000			
路面表示用塗料 3種1号 JIS K 5665 熔融 ガラスビーズ含有量15-18% 白 比重2.0		kg	570			2
道路用塗料 ガラスビーズ JIS R3301 0.106 - 0.850mm		kg	25			2
接着用プライマー 区画線用 色 - 比重0.9		kg	25			2
軽油 パトロール給油		l	40			2
諸雑費		%				

1, #等:諸経費等対象額

0001CAF0

夜間作業の有無=無し, 規格・仕様区分=実線 15cm, 時間的制約=無し, 塗布厚=1.5mm, 排水性舗装に施工する場合の補正=無し, 未供用区間に施工する場合の補正=無し, 塗料区分=白, プライマー規格=アスファルト舗装

第 17号表					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
計 (合計金額対象外は除く)					
単価	m				

MO101		アルミ矢板建込・引抜き (片側分) 掘削深				第 18号表
金	円	1 m 当り				
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額	摘 要
アルミ矢板建込・引抜き (両側分) 掘削深 2.0 m 以下		m	1			第 19号表
補正係数						
計						

アルミ矢板建込・引抜工（両側分） 堀削深2.0m以下					
第 19号表					
金	円	100 m 当り			
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
土木一般世話役	人				
特殊作業員	人				
普通作業員	人				
バックホウ運転費 油圧式クローラ0.2m3 排出ガス対策型（第2次基準値）	時間				
トラッククレーン オペレータ付き ラチスジブ型、油圧伸縮ジブ型4.9t吊	日				
諸 雑 費	式	1			
小計					
計					

第 19号表					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
単価	m				

MO 1 1 1					
アルミ矢板 賃料					
第 20号表					
金 円 1 式 当り					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
アルミ矢板基本料 H=2.0m	枚	24			12枚×2箇所=24枚
アルミ矢板賃料 H=2.0m	日・枚	312			156日・枚×2箇所=312日・枚
計					

軽量金属支保設置撤去工 水圧式パイプサポート 1段 掘削深2.0m以下					
第 21号表					
金 円 100 m 当り					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
土木一般世話役	人				
特殊作業員	人				
普通作業員	人				
諸雑費	式	1			
計					
単価	m				

MO112		支保工 賃料		第 22号表		
金	円	1 式 当り				
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額	摘 要
アルミ製腹起し材基本料 80×115×4000		本	2			1本×2箇所=2本
アルミ製腹起し材賃料 80×115×4000		日・本	26			13日・本×2箇所=26日・本
アルミ製腹起し材基本料 80×130×1000		本	4			見積、2本×2箇所=4本
アルミ製腹起し材賃料 80×130×1000		日・本	52			見積、26日・本×2箇所=52日・本
水圧サポート基本料 450-650		本	4			物価資料 建設物価 6月 P819 積算資料 6月 P297、2本×2箇所=4本
水圧サポート賃料 450-650		日・本	52			物価資料 建設物価6月P819 積算資料6月P297、26日・本×2箇所=52日・本
水圧手動ポンプ基本料		台	1			物価資料 建設物価 6月 P819 積算資料 6月 P297
水圧手動ポンプ賃料		日・台	13			物価資料 建設物価6月P819 積算資料6月P297、13日・台×1箇所=13日・台

MO 1 1 2					
第 22号表					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
計					

排水ポンプ設置・撤去工（小口径） 口径50mm						第 23号表
金 円 1箇所当り						
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額	摘 要
土木一般世話役		人				
普通作業員		人				
計						

1, #等: 諸経費等対象額

0001CAF0

水替工（小口径ポンプ運転）
作業時排水 0以上6未満（m3/h） 発動発電機
第 24号表

金 円 1箇所当り					
積算項目	単位	数量	単価	金額	摘要
特殊作業員	人				1
発動発電機 運転 ガソリンエンジン駆動 2kVA 排出ガス対策型（第1次）	日				1
諸 雑 費	%				
計					

1, #等:諸経費等対象額
0001CAF0

排水方法=作業時排水，排水量区分=0以上 6未満（m3/h），動力区分=発動発電機，運転日数=10日

MO113

仮設材等の積み込み・取卸し費

第 25号表

金	円	1 式 当り				
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額	摘 要
仮設材等の積み込み・取卸し費						
現場搬入質量=0.242 t, 現場搬出質量=0.242 t		式	1			
計						
単価						
		式				

施 工 パ ッ ケ ー ジ 区 分 一 覧 表

名 称	内 容	
土砂等運搬	土砂等発生現場＝小規模，積込機種・規格＝バックホウ山積0. 2 8 m 3（平積0. 2 m 3），土質＝土砂（岩塊・玉石混り土含む），D I D区間の有無＝有り，運搬距離＝1 7. 0 k m以下	SP 1 号表
舗装版切断	舗装版種別＝コンクリート舗装版，コンクリート舗装版厚＝1 5 c mを超え3 0 c m以下	SP 2 号表
舗装版切断	舗装版種別＝アスファルト舗装版，アスファルト舗装版厚＝1 5 c m以下	SP 3 号表
舗装版破碎	舗装版種別＝アスファルト舗装版，障害等の有無＝無し，騒音振動対策＝不要，舗装版厚＝1 5 c m以下，積込作業の有無＝有り	SP 4 号表
殻運搬	殻発生作業＝コンクリート（鉄筋）構造物とりこわし，積込工法区分＝機械積込，D I D区間の有無＝有り，運搬距離（k m）＝1 4. 4 k m以下	SP 5 号表
殻運搬	殻発生作業＝コンクリート（無筋）構造物とりこわし，積込工法区分＝機械積込，D I D区間の有無＝有り，運搬距離（k m）＝3. 3 k m以下	SP 6 号表
殻運搬	殻発生作業＝舗装版破碎，積込工法区分＝機械積込（小規模土工），D I D区間の有無＝有り，運搬距離（k m）＝2. 5 k m以下	SP 7 号表
床掘り	土質＝土砂（レキ質土），施工方法＝上記以外（小規模）	SP 8 号表
床掘り	土質＝土砂（粘性土），施工方法＝上記以外（小規模）	SP 9 号表
埋戻し	施工方法＝上記以外（小規模），土質＝土砂 ＊土砂の種類＝土砂（レキ質土）	SP 1 0 号表
埋戻し	施工方法＝上記以外（小規模），土質＝土砂	SP 1 1 号表

施 工 パ ッ ケ ー ジ 区 分 一 覧 表

名 称	内 容	
埋戻し	*土砂の種類＝土砂（粘性土）	SP 1 1 号表
基礎碎石	碎石の厚さ＝1 2 . 5 c mを超え1 7 . 5 c m以下，碎石＝碎石の種類 選択 &碎石規格＝再生クラシャーラン（R C - 4 0）	SP 1 2 号表
コンクリート	構造物種別＝無筋・鉄筋構造物，打設工法＝人力打設，コンクリート規格＝コンクリート規格 選択，養生工の種類＝一般養生， 現場内小運搬の有無＝無し &コンクリート規格＝1 8 - 8 - 2 5 （2 0）- B B	SP 1 3 号表
型枠	型枠の種類＝一般型枠，構造物の種類＝均しコンクリート	SP 1 4 号表
コンクリート	構造物種別＝無筋・鉄筋構造物，打設工法＝人力打設，コンクリート規格＝コンクリート規格 選択，養生工の種類＝一般養生， 現場内小運搬の有無＝無し &コンクリート規格＝2 4 - 1 2 - 2 5 （2 0）- N W / C 5 5 %以下	SP 1 5 号表
型枠	型枠の種類＝一般型枠，構造物の種類＝鉄筋・無筋構造物	SP 1 6 号表
コンクリート削孔（電動ハンマドリル）	削孔深さ＝3 0 m m以上2 0 0 m m未満	SP 1 7 号表
掘削	土質＝土砂（レキ質土），施工方法＝上記以外（小規模），施工数量＝標準	SP 1 8 号表
下層路盤（車道・路肩部）	施工区分＝2 層施工，材料＝路盤材 選択 *全仕上り厚＝2 5 0 m m，&路盤材規格＝再生下層路盤材 4 0 - 0	SP 1 9 号表
上層路盤（車道・路肩部）	材料＝粒度調整碎石 選択，施工区分＝1 層施工 *全仕上り厚＝1 5 0 m m，&路盤材規格＝粒度調整碎石（M - 3 0）	SP 2 0 号表

施 工 パ ッ ケ ー ジ 区 分 一 覧 表		
名 称	内 容	
表層 (車道・路肩部)	平均幅員＝1．4 m未満（1層当り平均仕上り厚5 0 m m以下），材料＝密粒度アスコン 選択，瀝青材料種類＝プライムコート 選択 &アスコン規格＝再生密粒度アスコン（1 3） A配合，＊1層当り平均仕上り厚＝5 0 m m，&瀝青材料規格＝プライムコート P K - 3	SP 2 1 号表
表層 (車道・路肩部)	平均幅員＝1．4 m未満（1層当り平均仕上り厚5 0 m m以下），材料＝密粒度アスコン 選択，瀝青材料種類＝無し &アスコン規格＝再生密粒度アスコン（1 3） A配合，＊1層当り平均仕上り厚＝4 0 m m	SP 2 2 号表

作業土工				数量計算表									測点間距離 20 m		
測点 中間点 距離(m)															

作業土工					数量計算表										測点間距離 20 m					
測点 中間点 距離(m)			コ メ ン ト			C1 床掘 (礫質土)			C2 床掘 (粘性土)			R1 埋戻 (購入土)								
						数 量	平均値	立積 (2 1)	数 量	平均値	立積 (2 1)	数 量	平均値	立積 (2 1)						
合	計	9.70				(C1)		13.910				(C2)		4.800				(R1)		10.030

作業土工				数量計算表			測点間距離 20 m	
測点 中間点 距離(m) コメント				R2 埋戻 (発生土)				
				数 量	平均値	立積 (2 1)		
0	+0.00	0.00	A' '	0.00				
0	+0.43	0.43	A' '	0.00				
0	+0.43	0.00	A'	0.00				
0	+1.05	0.62	A'	0.00				
0	+1.05	0.00	A	0.60	0.300			
0	+3.80	2.75	A	0.60	0.600	1.650		
0	+3.80	0.00	A'	0.00	0.300			
0	+4.43	0.63	A'	0.00				
0	+4.43	0.00	A' '	0.00				
0	+4.85	0.42	A' '	0.00				
100	+0.00	0.00	B' '	0.00				
100	+0.43	0.43	B' '	0.00				
100	+0.43	0.00	B'	0.00				
100	+1.05	0.62	B'	0.00				
100	+1.05	0.00	B	0.00				
100	+3.80	2.75	B	0.00				
100	+3.80	0.00	B'	0.00				
100	+4.43	0.63	B'	0.00				
100	+4.43	0.00	B' '	0.00				
100	+4.85	0.42	B' '	0.00				

作業土工		数量計算表			測点間距離 20 m	
測点 中間点 距離(m)	コ メ ン ト	R2	埋戻 (発生土)			
		数 量	平均値	立積 (2 1)		
合 計	9.70		(R2)	1.650		

舗装工			数量計算表										測点間距離 20 m	
測点 中間点 距離(m) コメント			c 1 掘削			w 1 舗装版破碎5 c m			w 2 舗装版破碎4 c m					
			数 量	平均値	立積（2 1）	数 量	平均値	面積（2 9）	数 量	平均値	面積（2 9）			
0	+0. 00	0. 00	0. 30			1. 05			0. 75					
0	+1. 05	1. 05	0. 30	0. 300	0. 320	1. 05	1. 050	1. 100	0. 75	0. 750	0. 790			
0	+1. 05	0. 00	0. 30	0. 300		0. 95	1. 000		0. 65	0. 700				
0	+3. 80	2. 75	0. 30	0. 300	0. 830	0. 95	0. 950	2. 610	0. 65	0. 650	1. 790			
0	+3. 80	0. 00	0. 30	0. 300		1. 05	1. 000		0. 75	0. 700				
0	+4. 85	1. 05	0. 30	0. 300	0. 320	1. 05	1. 050	1. 100	0. 75	0. 750	0. 790			
100	+0. 00	0. 00	0. 30	0. 300		1. 05	1. 050		0. 75	0. 750				
100	+1. 05	1. 05	0. 30	0. 300	0. 320	1. 05	1. 050	1. 100	0. 75	0. 750	0. 790			
100	+1. 05	0. 00	0. 30	0. 300		0. 95	1. 000		0. 65	0. 700				
100	+3. 80	2. 75	0. 30	0. 300	0. 830	0. 95	0. 950	2. 610	0. 65	0. 650	1. 790			
100	+3. 80	0. 00	0. 30	0. 300		1. 05	1. 000		0. 75	0. 700				
100	+4. 85	1. 05	0. 30	0. 300	0. 320	1. 05	1. 050	1. 100	0. 75	0. 750	0. 790			
合	計	9. 70		(c 1)	2. 940		(w 1)	9. 620		(w 2)	6. 740			

舗装工			数量計算表						測点間距離 20 m	
測点 中間点 距離(m) コメント			W1 仮舗装・下層路盤			W2 上層路盤・表層				
			数 量	平均値	面積（2 9）	数 量	平均値	面積（2 9）		
0	+0.00	0.00	0.75			1.05				
0	+1.05	1.05	0.75	0.750	0.790	1.05	1.050	1.100		
0	+1.05	0.00	0.65	0.700		0.95	1.000			
0	+3.80	2.75	0.65	0.650	1.790	0.95	0.950	2.610		
0	+3.80	0.00	0.75	0.700		1.05	1.000			
0	+4.85	1.05	0.75	0.750	0.790	1.05	1.050	1.100		
100	+0.00	0.00	0.75	0.750		1.05	1.050			
100	+1.05	1.05	0.75	0.750	0.790	1.05	1.050	1.100		
100	+1.05	0.00	0.65	0.700		0.95	1.000			
100	+3.80	2.75	0.65	0.650	1.790	0.95	0.950	2.610		
100	+3.80	0.00	0.75	0.700		1.05	1.000			
100	+4.85	1.05	0.75	0.750	0.790	1.05	1.050	1.100		
合	計	9.70		(W1)	6.740		(W2)	9.620		

延長計算表

数量計算名称	コード	起 点 測 点 中間点	終 点 測 点 中間点	数 量(m)
施工延長 測点間距離 20 m 合 計	SE (04)	0 +0.00 100 +0.00	0 +4.85 100 +4.85	4.85 4.85 9.70
水路工延長 測点間距離 20 m 合 計	SUE (04)	0 +0.55 100 +0.55	0 +4.30 100 +4.30	3.75 3.75 7.50

構造物撤去工			数量調整表	数量調整表優先
名 称	コード	計 算 式		
コンクリート切断	COL (03)	= 1.65 * 2 * 2 = 6.600		
鉄筋構造物取壊し	TCG (02)	= 2.48 = 2.480		
無筋構造物取壊し	MCG (02)	= 4.52 = 4.520		
AS舗装版切断	ASL (02)	= SE * 2 = 9.7 * 2 = 19.400		
AS舗装版破砕5cm	TH5 (29)	= w1 = 9.62 = 9.620		
AS舗装版破砕4cm	TH4 (29)	= w2 = 6.74		

構造物撤去工			数量調整表	数量調整表優先
名 称	コード	計 算 式		
A S 舗装版破碎 4 c m	T H 4 (2 9)	= 6.740		
舗装版破碎全体	T H Z (2 9)	-----		
		= TH5 + TH4		
		= 9.62 + 6.74		
濁水処分	A K O (0 4)	= 16.360		

		= 0.023 * (0.05 * ASL + 0.200 * COL)		
A S 殻処分	A S G (0 2)	= 0.023 * (0.05 * 19.4 + 0.200 * 6.6)		
		= 0.050		

		= TH5 * 0.05 + TH4 * 0.04		
		= 9.62 * 0.05 + 6.74 * 0.04		
		= 0.750		

数量調整表			数量調整表優先
名 称	コード	計 算 式	
区画線工	K 1 5 (0 1)	= SE = 9.7 = 9.700	

残土処分

土 量 調 整 表									
発生土登録表		**（発生土→埋戻土→盛土）流用表**				**残土処理場指定表**		**残土処理容量指定**	
発生土	変化率	発生土	- - - -	流用順位	- - - -	発生土	処理順位		
c1	3 1.00	C2	1 番目	R2 機械		c1	1 番目 Z10		
			5 →		2		3 → 3	Z10	99,999
C1	14 0.90					C1	1 番目 Z10		
							14 → 14		
C2	5 0.90	**盛土内訳指定表**				C2	1 番目 Z10	**残土量合計**	
		盛 土	流用土	不足土			5 → 3		
		R2	R99	F99				Z10	20
		2 =	2 +	0					

矢板（アルミ矢板）損料・運搬計算

1箇所当り

施工延長	L=	4	m	施工日数	n=	7	日			
矢板長さ	L=	2	m	矢板幅	w=	0.333	m/枚	矢板単位W=	10.1	kg/枚
支保工	N=	1	段							
両側・片側		1	(両側2、片側1)							
換算施工日数	7							日		
不稼働率	D2=	7	×	1.8	=	13	日			
		延長		矢板幅		矢板数		矢板単位重量		
矢板枚数	N=	4	÷	0.333	×	1	=	12	枚	
矢板使用枚数	N=	12	×	13	=	156	日・枚			
矢板運搬重量	W=	12	×	10.1	=	121.2	kg			
腹起材（H 70×115×4000）										
		延長		腹起長さ(m/本)		両側		段数		
	N =	4	÷	4	×	1	×	1	=	1 本
		日数		本数						
賃料(日×本)	t=	13	×	1	=	13	日・本			
腹起材（H 70×115×1000）										
		延長		腹起長さ(m/本)		両側		段数		
	N =	2	÷	4	×	1	×	1	=	1 本
		日数		本数						
賃料(日×本)	t=	13	×	2	=	26	日・本			
切梁材（水圧サポート L=550）										
		延長		腹起長さ(m/本)		両側		段数		
	N =	2	÷	4	×	1	×	1	=	1 本
		日数		本数						
賃料(日×本)	t=	13	×	2	=	26	日・本			

障害者差別解消法等に基づく差別的取扱いの禁止及び合理的配慮の提供についての留意事項に関する特記事項

（受注者の責務）

障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律（平成 25 年法律第 65 号）第 10 条第 1 項の規定に基づく「藤枝市における障害を理由とする差別を解消するための職員対応要領」（平成 28 年 3 月 11 日藤枝市長決定）第 2 条に規定する不当な差別的取扱いの禁止及び第 3 条に規定する合理的配慮の提供について留意すること。

遠隔臨場の試行に関する特記仕様書

本工事（業務）は、遠隔臨場の試行の対象であり、受発注者間の調整により、遠隔臨場を実施することができる。

（定義）

第1条 遠隔臨場とは、建設現場において、モバイル端末等による映像と音声の双方向通信を用いた立会・段階確認及び検査のことをいう。

（適用）

第2条 遠隔臨場は、受注者がモバイル端末等で撮影した映像と音声を監督員又は検査員等にリアルタイム配信を行い、双方向通信により相互に確認を行うことにより、必要とする情報の入手が可能と監督員又は検査員が判断した場合に限り、臨場又は実地に替えることができるものとする。

（実施方法）

第3条 受注者は、遠隔臨場を行う場合、以下の作業を実施する。

（1）事前調整

受注者は、監督員と遠隔臨場の実施日時、適用（確認する項目・内容）、仕様（使用する機器・アプリケーションまたはサービス）、その他必要な事項について調整する。なお、電話、メール等での調整を可とする。

（2）実施記録

受注者は、遠隔臨場が行われた証拠として、通信履歴の画面キャプチャ（写真）、通話中の監督員又は検査員の映像を含む写真等のいずれかの記録を行うものとする。

遠隔臨場が行われた内容の記録は、監督員又は検査員の臨場又は実地に替えて黒板に遠隔臨場であることを明記した写真により行うものとする。

（実施手続）

第4条 遠隔臨場は、以下の手順により実施する。

（1）事前調整

受注者は、遠隔臨場の実施について、監督員と事前調整する。

（2）立会・段階確認、検査の申請

受注者は、遠隔臨場を実施する場合、段階確認・立会願（第2号様式）の確認項目欄又は検査依頼書の検査の種類欄に遠隔臨場であることを明記する。実施日時等の取扱いは、臨場の場合と同様とする。

ただし、監督員又は検査員が臨場の必要があると判断した場合は、遠隔臨場による申請を行った場合においても、臨場により実施するものとする。

（3）立会・段階確認、検査の実施

受注者は、実施予定日時に、監督員又は検査員に対して通信を開始して実施する。

ただし、監督員又は検査員が必要とする情報が得られないと判断した場合は、遠隔臨場を中止し、通常の臨場による確認を実施するものとする。

（4）立会・段階確認、検査の確認

受注者は、遠隔臨場による立会・段階確認を実施した場合、段階確認・立会願（第2号様式）の確認書に、実施記録を添付し監督員に提出するものとし、遠隔臨場による検査を実施した場合は、検査終了後速やかに実施記録を監督員経由で検査員に提出するものとする。

(機材等の手配・仕様)

第5条 受注者は、以下の項目により遠隔臨場に必要な機器等を準備するものとする。

- (1) 受注者は、現場で必要となるモバイル端末及び通信回線等の準備を行う。
- (2) 発注者は、発注者が保有するインターネット通信が可能なタブレット端末等を利用する。
- (3) 利用するアプリケーションまたはサービスは、発注者が保有するタブレット端末等で利用が可能であり、かつ、発注者の利用に際して新たな費用負担が生じないものを受注者が選定する。

(費用)

第6条 受注者が行う機材等の手配に要する経費は、共通仮設費（業務の場合は諸経費）の率分に含まれるものとし、別途計上しない。

(調査への協力)

第7条 受注者は、遠隔臨場を実施した場合、有効性や効果、課題等について把握するためのアンケート調査等に協力する。

個人情報取扱特記仕様書

1 基本的事項

受注者は、個人情報の保護の重要性を認識し、この契約による事務の実施に当たっては、個人の権利利益を侵害することのないよう、個人情報を適切に取り扱わなければならない。

2 秘密の保持

受注者は、この契約による事務に関して知ることができた個人情報をみだりに他人に知らせてはならない。この契約が終了し、又は解除された後においても同様とする。

3 収集の制限

- (1) 受注者は、この契約による事務を処理するために個人情報を収集するときは、事務の目的を明確にするとともに、事務の目的を達成するために必要な範囲内で、適法かつ公正な手段により行わなければならない。
- (2) 受注者は、この契約による事務を処理するために個人情報を収集するときは、本人から収集し、本人以外から収集するときは、本人の同意を得た上で収集しなければならない。

4 利用及び提供の制限

受注者は、この契約による事務に関して知り得た個人情報を契約の目的以外の目的のために利用し、又は第三者に提供してはならない。

5 適正管理

受注者は、この契約による事務に関して知り得た個人情報の漏えい、滅失及びき損の防止その他の個人情報の適切な管理のために必要な措置を講じなければならない。

6 複写又は複製の禁止

受注者は、この契約による事務を処理するために発注者から引き渡された個人情報が記録された資料等を、複写し、又は複製してはならない。

7 再委託の禁止

受注者は、この契約による事務を行うための個人情報の処理は、自ら行うものとし、発注者が承諾した場合を除き、第三者にその処理を委託してはならない。

8 資料等の返済等

受注者は、この契約による事務を処理するために発注者から引き渡され、又は受注者自らが収集し、若しくは作成した個人情報が記録された資料等は、事務完了後直ちに発注者に返還し、又は引き渡すものとする。ただし、発注者が別に指示したときは、その指示に従うものとする。

9 従事者への周知

受注者は、この契約による事務に従事している者に対して、在職中及び退職後において、その事務に関して知り得た個人情報を他に漏らしてはならないこと及び契約の目的以外の目的に使用してはならないことなど、個人情報の保護に関し必要な事項を周知するものとする。

10 実地調査

発注者は、必要があると認めるときは、受注者がこの契約による事務の執行に当たり取扱っている個人情報の状況について、随時実地に調査することができる。

11 事故報告

受注者は、この契約に違反する事態が生じ、又は生じるおそれのあることを知ったときは、速やかに発注者に報告し、発注者の指示に従うものとする。

情報共有システム（ASP）の活用に関する特記仕様書

第1条（情報共有システムの活用）

本工事は、発注者及び受注者の間の情報を電子的に交換・共有することにより業務の効率化を図る情報共有システム(ASP)の対象工事である。実施にあたっては「藤枝市における情報共有システム活用要領」及び「藤枝市における情報共有システム活用の手引き」に基づき実施する。受注者は、情報共有システムの利用の有無を発注者と協議し決定する。利用する場合に必要な事項を以下のとおり定める。

第2条（システムの選定）

受注者は、本工事で使用する情報共有システムを選定し、発注者と協議し承諾を得なければならない。利用する情報共有システムは次の要件を満たすものとする。

- ・「土木工事」の場合

工事施工中における受発注者間の情報共有システム機能要件 （最新版）

（国土交通省）

- ・「建築・建築設備工事」の場合

工事施工中における受発注者間の情報共有システム機能要件 営繕工事編 （最新版）

（国土交通省大臣官房官庁営繕部 整備課施設評価室）

第3条（利用契約）

発注者及び受注者が使用する情報共有システムのサービス提供者との契約は、受注者が行うものとする。また、利用開始日、必要なユーザーID数やワークフロー機能の対象者等については、「事前協議チェックシート」に基づき、担当監督員と協議するものとする。

第4条（費用負担）

情報共有システムを利用する発注者及び受注者の費用は、情報共有システムへの登録料及び使用料であり、設計図書における経費のうち、共通仮設費の率分（技術管理費）に含まれるものとし、受注者の負担とする。

工事写真の電子データに関する特記仕様書

第1条（工事写真の提出）

当該工事（以下「本工事」という。）の工事写真を電子データの対象とするか否か、受注時に発注者、受注者協議の上、選択できるものとする。対象とした場合に必要な事項を以下のとおり定める。

第2条（工事写真）

工事写真は「写真管理基準」により撮影したものを指す。

第3条（電子データの作成）

電子データは、国土交通省版の「デジタル写真管理情報基準」に基づいて作成するものとする。

第4条（提出方法）

納品は要領に基づいて作成した電子データを電子媒体（CD-R）で2部提出する。

なお、納品の際には事前にエラーチェックを行い、エラーが無いことを確認した後、ウイルス対策を実施したうえで納品するものとする。

第5条（定めなき事項）

本仕様書および共通仕様書に定めのない事項や疑義が生じた場合は、必要に応じ監督員と協議するものとする。

藤枝市週休２日工事（土木工事）特記仕様書

（目的）

第１条 本特記仕様書は、公共工事の品質確保並びにその担い手の中長期的な育成及び確保が重要な課題となっていることに鑑み、建設現場における休日確保型工事の実施に伴い必要となる経費を適切に計上することにより、週休２日の取得が可能な環境づくりを推進し、その労働環境の改善を目的とする。

（用語の定義）

第２条 この要領において、次の各号に掲げる用語の意義は、それぞれ当該各号に定めるところによる。

- (1) 対象期間 工事着手日（準備期間を除く。）から工事完成日（後片付け期間を除く。）までの期間のことをいう。ただし、年末年始休暇（６日間）、夏季休暇（３日間）、工場製作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間のほか、発注者があらかじめ対象外としている期間は含まない。
- (2) 休工日 対象期間において、現場事務所での事務作業を含め１日を通して現場や現場事務所が閉所された日（巡回パトロール・保守点検等、現場管理上必要な作業のみを行う場合は休工日に含む。）をいう。
- (3) 現場閉所率 対象期間における休工日の割合（休工日数／対象期間日数）を百分率で表示したものをいう。
- (4) 月単位の週休２日 対象期間の全ての月において、週休２日の状態をいう。
ただし、土曜日、日曜日の日数の割合が２８．５％に満たない月においては、当該月の土曜日、日曜日の合計日数以上の現場閉所を行っている状態をいう。
- (5) 通期の週休２日 対象期間の現場閉所率が２８．５％以上の状態をいう。

（費用の計上）

第３条 週休２日工事の費用計上は、対象期間中の現場の閉所状況に応じ、静岡県が定める「週休２日推進工事積算要領」の規定に準じ、補正係数を乗じて行うものとする。

（実施方法）

第４条 週休２日工事の実施方法は、次のとおりとする。

- (1) 受注者は、現場着手日までに４週８休以上の休工日取得計画表を監督員に提出しこれに基づき施工を行う。
- (2) 受注者は、計画に変更が生じた場合には、その都度、変更した休工日取得計画表を監督員に提出する。
- (3) 監督員は、受注者に工事記録簿等の資料の提出を求め、休工日及び現場閉所率について確認を行う。なお、４週８休以上の休工日が確保できなかった場合には、静岡県週休２日推進工事（土木工事）実施要領の規定に準じ、現場閉所率に応じた費用計上

による減額変更契約を行うものとする。

(工期設定の条件)

第5条 設定された工期に見込まれている特記事項は、次のとおりとする。

- (1) 雨休率 休日と降雨降雪及び猛暑日数の年間の発生率をいう。この場合において、休日は、日曜日及び土曜日、祝日、年末年始休暇（6日）並びに夏季休暇（3日）とし、降雨降雪及び猛暑日数は地域ごとに算出が困難なため、「0.9」とする。

ただし、猛暑期間（6月～9月）外の工事については、猛暑日を考慮しない雨休率「0.8」とする。

- (2) 工事の性格 () 日
(3) 地域の事情 () 日
(4) 自然条件 () 日
(5) その他 () 日

交通誘導員の配置に関する特記仕様書（標準）

（交通誘導員の設計計上数量）

第1条 本工事の施工に際しては、設計書に計上した交通誘導員の人員を配置する。なお、配置場所等については、監督員と協議するものとする。

（安全対策）

第2条 受注者は、工事の施工に当たって交通整理等を行うときは、公共工事の円滑な執行に資することを理解し、事故のないよう適正に工事を実施しなければならない。

2 受注者は、工事の施工にあたって、交通整理等を行うときは、配置人員、配置位置及び配置期間等について、監督員と協議を行わなければならない。また、計画に変更が生じた場合も同様とする。

3 受注者は、工事の施工にあたって交通整理等を行った場合、工事完了時に実施内容の判る写真、交通誘導員勤務実績表を併せて提出しなければならない。

（その他）

第3条 交通誘導員は、原則、警備業法（昭和47年法律第117号一部改正平成16年法律第50号）第4条による認定を受けた警備業者の警備員を配置するものとする。

2 現場代理人は、交通誘導員について、住民等から意見があった場合は、速やかに監督員へ報告し、協議を行うものとする。

3 現場代理人は、交通誘導員の点呼を取り、交通誘導員の健康状態や交通整理状況を常時把握し、異常のあるときは速やかに警備会社へ連絡し、交替を要請するとともに、交替要員が現場に到着するまでの間、交通誘導を要する現場作業は控えるものとする。

4 現場代理人は、施工区域内において、複数の他工事が重複する場合は、事故の未然防止及び安全対策に万全を期するとともに、他工事との調整等を図るなかで、交通誘導員を適正に配置するものとする。

令和7年度(団体営)
高柳水門改良工事(藤枝南部)

特 記 仕 様 書 (水門編)

令和7年6月

第1章 総 則

第1条 適用範囲

1. 本仕様書は、令和7年度(団体営)高柳水門改良工事(藤枝南部)に伴う水門設計製作据付に関し、工事の特別事項を示すものとする。
2. 本仕様書に示す以外に農林土木工事共通仕様書を適用するものとする。

第2条 目 的

1. 本工事は、藤枝市高柳地内に堰の設置を行い、用水取水を目的とするもので、この目的を達成するために各設備及び機器についても十分検討のうえ、最良の設計製作据付を実施するものとする。

第3条 施工概要

1. 本工事は、下記に示す諸設備機器類を製作し、藤枝市高柳地内に搬入のうえ、据付調整を行うものとする。
 - (1)形 式 ステンレス製自動転倒堰
純径間×堰高 1250×400mm
 - (2)その他 附帯する設備

第4条 官公庁手続

1. 本工事に必要な官公庁等手続き及び検査は受注者が行い、その費用を負担することとする。
その主なものは次のとおりとする。

- (1)道路等の許可申請
- (2)予備検査
- (3)官公庁検査
- (4)その他一切の申請

第5条 予備品

1. 機器保守に必要な予備品は必要数量納入することとする。

第2章 設計仕様

第6条 設計条件

- | | |
|-----------|-------------|
| 1. 形 式 | ステンレス製自動転倒堰 |
| 2. 純径間×堰高 | 1250×400 mm |
| 3. 水密方式 | 前面3方ゴム水密 |
| 4. 水 質 | 河川水 |

第7条 構造一般

1. 許容応力及び安全率は、特に定めるもの以外は水門鉄管技術基準によるものとする。
2. 使用材料は、すべて日本工業規格に合格したもので下記材料を使用するものとする。

名 称	部 品 名	材 料
(1)扉体	a) ステンレス角形鋼管	SUS304
	b) ステンレス鋼板	SUS304
	c) ステンレス平鋼	SUS304
	d) ステンレス溝形鋼	SUS304
	e) ステンレス棒鋼	SUS304
(2)戸当たり	f) ステンレス鋼板	SUS304
	g) ステンレス平鋼	SUS304
	h) ステンレス溝形鋼	SUS304
(3)架台	i) 鋼板	SS400
	j) 溝形鋼	SS400
	k) 平鋼	SS400

3. その他適用区分に応じ適したものであることとする。
4. 使用に当たっては、監督員の承諾を得ることとする。

第3章 製 作

第8条 加 工

1. ひけ、さく巣のない良品を使用することとする。

第9条 ボルト穴

1. ボルト穴は、ボルト径より1.5 mm以上大きくしないこととする。

第10条 仮組立

1. 工場製作が完成したら直ちに仮組立てを行い、歪曲、その他不適當な所がないようにすることとする。
2. 端曲げ、変形、食い違いなどにハンマー打ちによる修正を行ってはならないものとする。このことは据付後の修正にも適用するものとする。

第11条 溶 接

1. 溶接作業はJIS規格に基づいて行うものとする。

第4章 塗 装

第12条 塗 装

1. 塗料はJISに適合したものを使用すること。
2. 塗料名、メーカー名、色見本を提出し監督員の承諾を得ることとする。
3. 塗装の種類と塗装厚は表－1標準仕様もしくは、監督員がこれと同等以上と認めたものであることとする。

(表－1)

工種	施工場所	塗装種別	塗料名	標準塗装厚(μ m)	備考
管理橋	工場	防食塗装	溶解亜鉛メッキ 2種 HDZ55	76	

4. 運搬据付等により不備になった箇所は据付後その周囲の塗装工程に合わせて現場塗装を行うこととする。
5. 各層ごとに写真撮影をすることとする。
6. ステンレス部分は酸洗いを施し、塗装については適用除外とする。

第5章 据 付

第13条 据付工事

1. 工事に必要な仮締切及び水替工・二次コンクリート工事はすべて本工事に含むものとする。

第6章 検 査

第14条 試験及び検査

1. 試験及び検査は次のとおりとする。
 - (1) 原寸検査
 - (2) 材料検査はミルシートで代用するものとする。
 - (3) 外観寸法、溶接部等工場仮組検査
 - (4) その他必要と認める検査
2. 検査の実施に先立って予め検査願いを提出するものとする。
3. 上記試験及び検査に要する費用は受注者の負担とするものとする。

令和7年度（団体営）高柳水門改良工事（藤枝南部）
（土工編）

第1条 総則

本仕様書は、「静岡県農林土木工事共通仕様書」（平成27年静岡県告示第855号、以下「共通仕様書」という）に定めるほか、本工事の施工に際し必要な事項を定めるものとする。本仕様書の内容と共通仕様書の内容に重複する記載があった場合は、本仕様書が優先するものとする。

第2条 現場条件

1 工事場所

藤枝市高柳地内

2 工事内容

対象水路は取水時に堰板を設置しているが、大雨時に堰を管理するのが難しい為、本工事は堰を改良し、大雨時に自動手転倒することを目的としている。

3 工事数量

- ・ 施工延長 L=9.7m
- ・ 水門工 N=2箇所

4 交通規制は原則として片側交互通行とする。

道路の通行規制に関しては、警察署及び道路管理者（藤枝市）との協議を行うものとし、歩行者や車両等の事故がないよう、細心の注意を払って安全施設を設置すること。

第3条 関係機関との調整

1 本工事は、施工にあたり藤枝市（農林基盤整備課、道路課）、所轄警察、地元自治会、その他関係者と調整を行うものとする。特に工事対象路線に接する民家や一般企業の進入に影響を与える場合は、施工時期、時間帯について情報収集すること。

2 交通規制に関する予告看板を事前に設置し、広く工事情報の周知に努めること。

第4条 工事用地等

工事用地のほか施工に必要となる用地は、受注者の責務において確保し、返還時には関係者の確認を得ること。

第5条 工事用材料

材料検査を実施するものについては材料検査簿を作成し、監督員の検印を受けるものとする。その他検査を要さない材料については、材料承認図書における品質規格証明によるものとする。

第6条 施工

- 1 施工計画書は、「共通仕様書」の規定による。南海トラフ地震に関連する情報が出された場合の措置（避難経路、避難場所含む）について「共通仕様書」を参考に記載すること。
- 2 工事着手前に施工範囲および計画地盤高を確認するため現地測量を行うこと。
- 3 2か所のうち1か所は、本年度農地を宅地にする造成計画があるため、地元役員及び宅地造成工事との調整を図り、現場での施工順序や施工時期について、監督員及び関係機関と連絡調整を密に行うこと。
- 4 本工事は、水門製作に時間を要することから2班編成での施工を計画し、工期を設定している。

第7条 建設副産物の処理

1 アスファルト舗装殻

- (1) アスファルト殻はセイエン商事（株）（藤枝市）へ、舗装版濁水処分はマーセリサイクル（株）麻機工場（静岡市）へ運搬処理することを想定している。また、不法投棄防止のため処理業者と工事毎に契約書（請書）を作成するものとする。
- (2) 処理場が発行する帳票等は受注者において管理するものとするが、その処理量が確認できるよう整理し、監督員の指示があった場合提示すること。
- (3) 建設副産物の運搬または処分を他社に委託する場合、受注者は産業廃棄物管理責任者を配置し、運搬状況・処分状況を把握するものとする。また産業廃棄物管理責任者の氏名を現場組織表、下請施工体系図、施工計画書内に記載すること。

2 コンクリート殻

- (1) コンクリート殻（鉄筋）は（株）ハイナン（牧之原市）へ、コンクリート殻（無筋）は（株）紅林建材（藤枝市）へ運搬処理することを想定している。また、不法投棄防止のため処理業者と工事毎に契約書（請書）を作成するものとする。
- (2) 処理場が発行する帳票等は受注者において管理するものとするが、その処理量が確認できるよう整理し、監督員の指示があった場合提示すること。
- (3) 建設副産物の運搬または処分を他社に委託する場合、受注者は産業廃棄物管理責任者を配置し、運搬状況・処分状況を把握するものとする。また産業廃棄物管理責任者の氏名を現場組織表、下請施工体系図、施工計画書内に記載すること。

3 残土処分

- (1) 残土については、駿遠開発事業（株）（牧之原市）へ運搬処理することを想定している。

第8条 安全対策

- 1 工事施工の際は交通整理員を配置し、十分な安全対策を講じるものとする。
- 2 工事箇所は、小学校の通学路に指定されていることから、通学をを確保するとともに学童の安全な通学に努めること。
- 2 受注者は、一日の作業終了後は交通開放を行う路面の状況を調査し、既設との段差に対し、通行車両の安全と周辺への振動等に十分配慮すること。

第9条 変更









当初設計時に考慮していなかった事象が生じた場合は、発注者、受注者、双方協議の上、設計変更の対象とする。

第10条 その他

本仕様書に記載なき場合で疑義が生じた場合、速やかに監督員と協議すること。

地下埋設物調査書

(令和7年度(団体営)高柳水門改良工事(藤枝南部))

埋設物	埋設状況			管理者	
	縦方向	横方向	特殊箇所	市	管理側
水道管	Dφ100	Dφ150	給水管あり 仕切弁、消火栓あり 要立会		上水道課 額縁
ガス管	PEPφ100(低圧)		要立会		東海ガス(株) 紅林
大井川広域水道企業団	管理図により無いことを確認した。				
大井川土地改良区	管理図により無いことを確認した。				
N T T ケーブル	地下埋設物照会により無いことを確認した。				NDS(株) 岡村
中部電力 ケーブル	地下埋設物照会により無いことを確認した。				中部電力パ ワーグリッド (株)
下水道管	地下埋設物照会により無いことを確認した。				下水道課 遠藤

位置図

